

校長挨拶

本校は、昭和44年千葉県立松戸養護学校として開校し、平成19年校名を千葉県立松戸特別支援学校と改名し、今年49年目を迎えました。松戸市・柏市・流山市・我孫子市・鎌ヶ谷市・野田市・印西市・白井市の計8市を通学区とする肢体不自由のある児童生徒が学ぶ特別支援学校です。

今年度58名の新入生が入学し、児童生徒数は、小学部91名、中学部57名、高等部38名あわせて186名となりました。この内、15名の児童生徒が訪問教育で学んでいます。そして、昨年度より、重心施設 光陽園（柏市）の中に本校の教室を設けて授業を行う院内学級を開設し、現在13名の児童生徒が在籍しています。

本校は、創立以来、東葛飾地区の肢体不自由教育を推進する地域の学校として、定期的に地域支援相談会を開催するなどセンター的役割を担ってまいりました。平成28年度から取り組み始めた、地域の小中学校に在籍する肢体不自由のある子どもたちのための通級指導もさらに充実させていきます。

また、インクルーシブ教育システム構築のため、連続性のある「多様な学びの場」の一つとしての本校の在り方を再検討し、地域のセンターとしての機能を整理・充実させ、児童生徒の自立のために「今何ができるのか」を保護者とともに真剣に考えていきたいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様の一層のご支援をよろしくお願いいたします。

平成29年4月1日

千葉県立松戸特別支援学校

校長 伊藤 俊和